

## 私にとっての縮小社会 1 : 「縮小社会ルネサンス」運動始まる ! ?

中山 康之 (会員) Mar/14 2013

地球上の全人類がこのまま資源やエネルギーを使い続ければ、早晩それらは枯渇し、我等が子孫は絶滅すると試算されています。100年後、1000年後、10000年後のわれら人類子孫のために、今 それらの使用を「制限した社会—縮小社会/成熟社会」の構築に成功し、子孫に継承されれば、未来永劫 (?) われ等の子孫は生きながらえる事が可能になると (現時点では) 、考えられています (参照: 「縮小社会への道」松久 寛編著 2012年 日刊工業新聞社刊 ) 。

地球上の、政治、経済、文化、人種、地域 などあらゆる人間生活において、縮小社会/成熟社会 実現のための課題は限りなく、われらの世代に、その実現は不可能かも知れません。しかしながら、「その昔 21 世紀初頭、日本国は京都において我等のために資源とエネルギーを未来永劫持続可能にするための ” 縮小 社会ルネサンス ” 運動がはじまった」などと、遙か遠い未来まで、運動を引き継いだ地球人の口に、膾炙されれば何と嬉しいことはありませんか。肝心な事は、未来永劫その灯を絶やさないことです。 次回、運動成功の秘訣を提案します・・・。